

平成 30 年 10 月 14 日

別府市 観光政策課 御中

日本航空 九州地区総務部

高田 智美

業務効率向上モニターツアー報告書

下記業務効率化向上ツアーの参加を受け、下記ご報告いたします。

記

1. ツアー名： ビジネスパーソン向け 業務効率向上モニターツアー
2. 研修日時： 2018 年 10 月 1 日（月）～ 10 月 5 日（金）計 5 日間
3. 研修会場： 別府市（滞在先：柳屋 別府市鉄輪）
4. ツアー内容：
 - 初 日： メディカルチェック・鉄輪散策
 - 2 日目： テレワーク・地獄めぐり/明礬観光
 - 3 日目： 宇佐神宮・国東めぐり
 - 4 日目： 地獄めぐり・テレワーク
 - 5 日目： メディカルチェック
5. 感想

ワーケーションを行うにあたって、下記項目は選定地の重要なポイントと感じた。日頃のストレスを解消し、明日への活力となれる「癒し」の旅行でもあると思う。

(1) 滞在型観光について

長期滞在する場合、飽きのこないその土地の楽しみ方が必要と考える。別府市は、「温泉」という豊かな自然の恵みがあり、観て・浸かって・食してといろんな楽しみ方ができる。他の温泉地に比べ様々な泉質の湯を楽しむことができ、「湯治」⇒「心身への癒し」を得ることもできる。長期滞在型であれば、「スパポート」はとてもよい企画だと思う。また、地元のガイドさん（語り部の会）の存在はとても大きい。その土地の歴史を学ぶ楽しみも是非味わってほしい。

ワーケーションも、家族・一人・友達など参加形態は様々なので、それぞれの形態に合わせた別府の魅力を発信して行くことも重要であると感じた。朝ヨガなども面白い企画だと思う。



(2) 食について



今回、夕食の3度が自炊による地獄蒸し料理だった。回を重ねるごとにグレードアップしていくことに楽しみを覚えた一方、やはり味付けは基本同じで、少し飽きてくる。レシピ本や地元の地獄蒸し料理のベテラン（町の人）による料理教室などを開催すると地元の話をしてながらより楽しい自炊ができると思う。

また、旅の楽しみは、その土地の郷土料理です。今回の食事場所は、どこも美味しく大満足な内容だった。最後の薬膳料理は「健康」をキーワードとすれば、非常に良かった。

また、夜ぶらりと出かける際に、おすすめスポット等が分かる地図があると散策もしやすいと思う。

(3) 宿泊先について

長期滞在型となると、宿泊先の環境はかなり重要なポイントとなる。条件として、立地・施設（Wi-Fiなどのビジネス環境含む）・雰囲気・宿泊費などと様々である。今回の宿泊先である「柳屋」さんは、古い日本家屋で温泉宿の佇まいでありながらも、ビジネス環境も整っており、非常に過ごしやすくゆっくりとできた。また、宿の方々のつかず離れずの絶妙な客との距離感が、とても心地よかった。やはり、別府らしさを感じていただくには、「柳屋」さんのような旅館が趣もあり、旅行に来ている実感がわくので、鉄輪地区にももっと増えてくると様々な客層で賑わうと思う。



(4) ワークーションを終えて

今回、初めてワークーションを体験し、当初は旅行をしながら仕事をする事に対し、せつかくの非日常の世界から現実に呼び戻される感じがあり、抵抗があった。しかしながら、心身の癒しを感じる中、その合間に仕事をする事、限られた時間の中で集中して業務をこなすことができた。その「癒し」を得られる別府温泉は最適な場所ではないかと感じた。また、個人旅行でなく、会社ぐるみでのワークーション実施も懇親が深まり、良い経験となった。

以上